



# 学習だより 第6号

令和3年1月8日 学習部

## <1月の学習に関する日程>

8日(金) 1・2年次 実力テスト

16日(土) 大学入学共通テスト(～17日)  
1・2年次 進研模試

26日(火) 3年次 学年末テスト(～29日)

※ 予定は変更される場合もあります



## <今月の話>

こんにちは。学習部の小太刀です。2021年もスタートしましたね。今年もよろしくをお願いします

みなさんはマリ・キュリー(1867-1934)を知っていますか?「キュリー夫人」と聞くとピンとくる人もいるかもしれませんが。彼女はポーランド生まれの物理学者・化学者で、女性として史上初のノーベル賞(1903年ノーベル物理学賞)を受けた人物です。

彼女が残した言葉に次のようなものがあります。下線部にはどんな言葉が入ると思えますか?考えてみてください。

「チャンスは、それに \_\_\_\_\_ 者に微笑むものだ。」

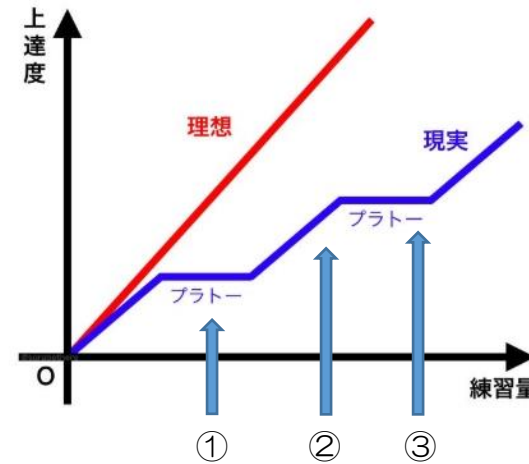
どんな言葉が入りましたか?彼女の言葉の意味とは、入念な準備をする、すなわち、備えをして初めてチャンスをモノにできるということなのです。 答) 備えている

今年は勉強や部活動、その他自分がやり遂げたいことすべてに昨年以上の備えをし、微笑んでくれるチャンスをこちらから待ちたいものですね。常に力強く、前向きに努力していきましょう。

## <勉強量(または練習量)と上達度の関係について>

### ●全年次

みなさんは下のグラフにある“プラトー”を知っていますか?



プラトーとは・・・

努力しているにも関わらず、成長を感じられない状態のこと。勉強だけでなく、スポーツや仕事などでも同じようなことがあります。

グラフの①、②、③の状態ではどのようなことが言えるでしょうか。

- ① この期間の持続的な努力が大切。  
→ 「やっても伸びない・・・」と諦めてはいけない!
- ② あるとき気付いたらレベルアップしている。  
→ 今までやってきたことがうまくつながり、発揮される!
- ③ 途中で止めたらこのレベル止まり。  
→ 再び伸び悩みが来る。でも、これを乗り越えたらさらに伸びる!

今高生は①や③の段階で諦めてしまっているのかもしれない!  
もしくはまだ①の段階までも行っていないのかもしれない・・・

何かを達成しようと努力を始めれば、必ずと言っていいほどこの「プラトー」を経験することになっているとわかっているだけでも違いますね。さらにプラトーを乗り越えれば必ず伸びるとわかればやる気が出ますね!

新年がスタートしました!

勉強や部活動、さらに人としての成長においても、新たな目標を定め、その達成に向かって日々努力していきましょう。頑張れ、今高生!!

次に年次ごとに話をしていきます。

## ●1・2年次

3学期が始まりましたがどんな気持ちですか？

成績伸ばすぞとやる気満々な人、また勉強かあと気持ちが後ろ向きな人、部活動を頑張るぞと気合いが入っている人、さまざまではないでしょうか。

ここで大事なこと！ 3学期はすべてにおいて **次の年次の0学期** なのです！

**1年次3学期 = 2年次0学期**      **2年次3学期 = 3年次0学期**

そこで、学習部から提案です。次のようなことを心に留めておいてください。

### 1. 学習だより1号の内容をもう一度確認しましょう。

#### ①<予習 → 授業 → 復習> + ②<宿題・小テストの勉強・週末課題>

(予習は科目によります)

これを6月(登校再開)から継続してきている人は大勢いますね。

3学期は次の年次の0学期ということでもう一度見直してみてください。

例)

- 1) 授業では先生の発言なども必要であればノートにメモする。
- 2) 復習用のノートを作り、授業で学んだことをその日のうちにやり直す。
- 3) 週末課題は、辞書や参考書などを使い、細かい部分まで勉強する。

など



**次の年次を見据えた勉強にレベルアップする！！**

### 2. 進路実現に必要な科目を苦手科目にしないように！

「私、看護師になりたいんです。でも、化学と生物が苦手で・・・」

こんなこと言ってる時点で、看護系の進路を目指すことは無理です。でも、その夢諦めますか？ 諦められないのなら、化学も生物も猛勉強してください。

自分の将来に必要なことならどんなに苦しくてもやるしかないのです。

## ●3年次

### <国公立2次、私立大学入試を控えている生徒へ>

16日、17日には共通テストを迎えます。そして、その後、私立大学一般入試、国公立2次試験と続いていきますね。では、**私立大学入試、国公立2次試験の対策**としてどんなことができるでしょうか。例としていくつか挙げてみます。

例)

#### 過去問を解く

- 本番と同じ時間・科目順で演習を繰り返す。
- 答え合わせをした後はわかるまでじっくりやり直す。
- 過去問でその大学の問題の特徴をつかみ、その対策をする。

#### 試験科目それぞれの対策を考えて勉強する

##### <英語：1日1～2題の長文は必ず解く>

- 入試で配点の多くを占める長文。とにかく読み慣れることが大事。
- 長文演習の中で単語や文法の復習をする。苦手だとわかった文法などは参考書でチェックする。
- 毎年出るような分野(トピック)の長文は集中的に読む。

##### <日本史や世界史：時代背景の理解が必要>

- 私立大入試の日本史や世界史では単なる暗記では太刀打ちできない。時代背景を理解するためにも、資料集を使ったり、わからない単元を詳しく理解したりすることも必要である。
- 今まで受けた模試で、点が取れなかった時代(日本史なら中世とか近代とか)を数日かけて徹底的に復習するのもあり。

英語と歴史科目を例に挙げましたが、その他の科目にも同じように対策が考えられます。一人で悩まず、教科担当や担任の先生方からのアドバイスを参考にし、計画を立て、確実に合格に近づきましょう！